

令和7年度教職員表彰MVP受賞者インタビュー

(加木屋小学校 川口博子先生)

1 受賞の感想をお聞かせください。

大変名誉ある賞を授与していただき、驚いています。嬉しさと共に、身が引きしめる思いです。この賞は自分一人ではなく、いつも支えてくださる先生方、保護者の皆様、そして、毎日全力で前向きにがんばっている子どもたちと共に頂いた賞だと思っています。これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと感じています。



2 ご自身の取組について、どんな点が評価されたと思いますか。

2人の子をもつ母として、試行錯誤しながら日々過ごしています。以前、先輩の先生からいただいた「自分を大切に」という言葉を励みにし、目の前の一つ一つのことに向き合ってきました。「子育ても仕事も大切にしたい」という思いをもち、保健主事としての業務に見通しをもって取り組んできたこと、その取組が校内の助けとなったことを評価していただけたのではないかと思います。しかし、今のわたしがいるのは今まで出会ってきた方々のおかげです。これまでお世話になった学校・家庭・地域の方々の力が評価されたのだと思っています。



3 ご自身の指導方針や子どもたちへの接し方で心がけていることをお聞かせください。

わたしは、子どもたちの言葉を「聴く」ことを心がけています。子どもたちが話しかけてきたときは、何をしても手を止め、必ず応えるようにしています。自分自身の姿勢が、子どもたち同士でも温かい声をかけ合える環境をつくり、自分のことも相手のことも大切にできる人を育てていくことになると信じているからです。また、朝の会での健康観察もおろそかにしないようにしています。朝一番の子どもたちの表情がいつもの表情と変わらないだろうか。何気ないことですが、小さな変化に気付き、声をかけることは大切だと思っています。

4 教師をしていて、うれしいと感じるときはどんなときでしょうか。

子どもが自分の課題に立ち向かい、壁を乗り越えたときです。育ち盛りの子どもたちは嬉しい事も悲しい事もたくさん経験します。子どもにとってはどれも大きな出来事です。課題を乗り越え、自分自身の成長が感じられたときの子どもたちの喜びに満ちた表情。そんな子どもたちの表情から、わたしが勇気をもっていることの方が多いかもしれません。子どもたちを近くで見ることができるのは、教師の特権ですね。

5 これからの夢をお聞かせください。

自分が出会った子どもたちが大人になり、いつか一緒に仕事をする事です。これは、教員になった頃からの自分の夢ですが、まだ実現していません。出会った子どもたちが命を大切に、豊かな人生を歩んでほしいと思っています。

6 最後に、周りの先生方へひとことお願いします。

仕事と子育ての両立ができているのも先生方のおかげです。悩みを共有したり、喜びを分かち合ったりすることができる心強い学年の先生方がいます。1日の疲れを忘れるほどたくさん笑わせてくれる先生もいます。これからも加木屋小学校の子どもたちの健やかな成長を、先生方と一緒に支えていくことができれば嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。